

社会資本総合整備計画 事後評価書															
計画の名称	神戸市公共下水道事業 ~ひと・都市・地球環境を守り育てる下水道をめざして~														
計画の期間	令和02年度 ~ 令和06年度 (5年間)												重点配分対象の該当		
交付対象	神戸市														
計画の目標	安全・安心・快適な市民生活と健全な都市活動を支え、良好な水環境を形成するとともに、循環型社会・地球環境保全を進め、魅力ある神戸のまちの創造に貢献する。														
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）		13,305	A	13,296	B	0	C	9	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A + B + C + D）		0.06	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2当初		R6末
1	垂水処理場東系の整備を進め、環境基準達成を目標とする大阪湾流域別下水道整備総合計画の対象5処理場における高度処理の割合（高度処理対応率を）28%（R2）から34%（R6）にする。 大阪湾流域別下水道整備総合計画の対象5処理場における高度処理の割合	28%	%	34%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	神戸市	直接	神戸市	終末処 理場	新設	市内 通常の下水道事業	垂水処理場 東系 増設	神戸市	■	■				4,642		-
	A07-002	下水道	一般	神戸市	直接	神戸市	-	改築	市内 下水道ストックマ ネジメント支援制度	市内処理場・ポンプ場・管路 改築更新	神戸市	■	■	■	■	■	2,748		策定済
	A07-003	下水道	一般	神戸市	直接	神戸市	-	新設	市内 下水道リノベーシ ョン推進総合事業	再生水管路 布設 他	神戸市	■	■	■	■	■	10		-
	A07-004	下水道	一般	神戸市	直接	神戸市	管渠（ 汚水）	新設	市内 通常の下水道事業	汚水管路 布設	神戸市	■	■	■	■	■	2,896		-
	A07-005	下水道	一般	神戸市	直接	神戸市	終末処 理場	新設	市内 通常の下水道事業	リン回収施設 増設他	神戸市			■	■	■	3,000		-
										小計						13,296			
										合計						13,296			

C 効果促進事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	C07-001	下水道	一般	神戸市	間接	神戸市民	-	-	市内 通常の下水道事業	直接投入型ディスポーザ普及 促進	神戸市		■	■	■		9		-	
		バイオマスエネルギーの増産																		
												小計						9		
											合計						9			

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

令和8年度 建設事業外部評価委員会

事後評価の実施時期

令和8年度

公表の方法

神戸市ホームページにて記載

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

・垂水処理場 東系水処理施設において、高度処理を導入することで大阪湾の水質環境基準の達成に貢献できた。また、経営計画に定める良好な水環境の実現に貢献できた。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

・垂水処理場東系は、災害時の代替性確保を目的とした下水道ネットワークシステムで他処理場と連絡されているため、今回の増設により災害時の代替性を増強することができた。

○特記事項（今後の方針等）

- ・今後も大阪湾の水質環境基準の達成に貢献できるように、適切な処理方式を導入していく。
- ・経営計画に定めた「良好な水環境の実現」については、一定の効果が発現できたことから、「循環型社会の実現」についても、事業実施を進めていく。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	垂水処理場東系の整備を進め、環境基準達成を目標とする大阪湾流域別下水道整備総合計画の対象5処理場における高度処理の割合を28%から34%にする。		
	最 終 目標値	34%	
	最 終 実績値	34%	